

# 公園・緑化のあゆみ



[ 平成 22 年度 緑化事業報告書 ]

尼崎市都市整備局公園課

## 市の緑化行政のあゆみ

尼崎市は、阪神間の東端に位置し、面積約50平方キロメートル、人口約46万人の産業と住宅のまちです。

猪名川と武庫川の沖積による平坦で利用しやすい土地柄から元来緑が少なく、近代は産業の発展に伴い、都市化が著しく進みました。

このため、昭和40年頃から「緑を育てる尼崎」を重点施策に掲げ、緑化体制を整え、市民や事業者にも働きかけながら、公園緑地の整備をはじめ、市民一人一本植樹運動、工場緑化協定、保護樹木・樹林の指定、緑の相談所開設、武庫川花の咲く堤作り、JR東海道沿線緑化、「花の日」の制定、花いっぱいモデル地区づくりなど数々の緑化事業を展開してきました。

## 市及び市民が緑化で受けた賞

「緑の都市賞」内閣総理大臣賞・最優秀賞（平成5年10月）

市域全体が市街地という緑の少ないまちでありながら、昭和40年代から積極的に工夫をしながら緑化空間を生み出し、都市緑化に取り組んできたことが高く評価されました。

「花のまちづくりコンクール」建設大臣賞・最優秀賞（平成11年10月）

市全体で長年取り組んできた緑化をはじめとする数々の環境改善の取組みと震災後に始まった市民参加の花づくり運動が高く評価されました。

21世紀の「人と建設技術」賞（平成13年6月）

東武庫夢公園において、住民との協働による事業として自ら計画し整備後の維持管理や花壇育成まで、住民が主体的に参加し、コミュニティづくりにも役立っていることが高く評価されました。

第14回「緑の愛護」功労者国土交通大臣賞（平成15年4月）

市が推進している「街なみ街かど花づくり運動」の市民ボランティア組織「尼崎花のまち委員会」の活動について市民主体の花づくりによるまちづくりが高く評価されました。